

## Si-RG100 V02.55 変更内容一覧

### □機能追加・改善

| No. | 項目     | 追加・改善内容                                      |
|-----|--------|--|
| 1   | SSHサーバ | SSH/SFTPクライアントから装置への接続に失敗する場合がある事象の改善対応を行った。 |
| 2   | IPsec  | IPsec/IKEv2接続が切断された後の再接続に時間がかかることの改善対応を行った。  |

### □修正内容

| No. | 影響範囲  | 修正内容   |
|-----|---|--|
| 1   | V02.13～V02.54<br>WEB画面利用時                     | Web管理インターフェースにおける脆弱性対応。  |
| 2   | V02.16～V02.54<br>クラウドサービスゲートウェイ<br>機能利用時      | CNAMEを含むDNS応答を受信した場合、ブレイクアウトが正しく行われない場合がある。  |
| 3   | V02.16～V02.54<br>クラウドサービスゲートウェイの<br>表示コマンド実行時 | show csg lsitコマンドの表示が文字化けすることがある。  |
| 4   | V02.00～V02.54<br>SSH/SFTPサーバ機能利<br>用時         | 特定の条件下でSSH/SFTP接続をする場合に、装置が再起動することがある。   |
| 5   | V02.16～V02.54<br>セキュリティのシステムログ出<br>力機能利用時     | クラウドサービスゲートウェイのセキュリティシステムログ情報の出力("syslog security csg"設定)を有効にしているとき、特定の運用条件下において装置が不定なエラーコードを出力し、再起動することがある。 |
| 6   | V02.00～V02.54<br>IPsec(IPv6)機能利用時             | IPsec(IPv6)パケットのフローラベル値が不定値としてパケット送出され、フレッツ網においてIPsec(IPv6)通信が不安定になる場合がある。                                   |
| 7   | V02.00～V02.54<br>NAT機能利用時                     | NATテーブル使用数が装置上限となるような運用環境において、SIPパケットがNAT変換される場合に装置が再起動することがある。  |
| 8   | V02.50～V02.54<br>シェーピング・帯域制御機能<br>利用時         | 設定帯域以上の通信が継続する場合に、メモリ予兆監視が検知され、装置無応答となることがある。  |
| 9   | V02.00～V02.54<br>NAT機能利用時                     | IPsec経由のリモートデスクトップ接続時、以降IPsec通信不可となることがある。   |
| 10  | V02.00～V02.54<br>接続先監視機能利用時                   | 対向装置との間で接続先監視(idleonly設定)時に、監視異常を検出しないことがある。   |
| 11  | V02.50～V02.54<br>IPv6(RA受信モード)機能<br>利用時       | IPv6接続時、Neighbor Cacheエントリの保持時間切れのタイミングでパケットが装置内で破棄されることがある。   |
| 12  | V02.54<br>IPsec(NATトラバーサル)<br>機能利用時           | NATトラバーサル機能を使用し複数の接続先とIPsec通信時に、通信不可となったり装置が再起動することがある。  |